

ISO 9001
ISO 14001
全社登録

Feel The Color

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド放散等級

床用塗料

厚膜型エポキシ樹脂系蓄光塗床材

ユカトップローラーエポ蛍

安全対策として最適な蓄光塗床材



安全対策に最適で、耐久性に優れた蓄光塗料ユカトップローラーエポ蛍

ユカトップローラーエポ蛍は、ローラーで手軽に厚膜塗装が可能なユカトップローラーエポに発光持続性に優れた顔料を使用した蓄光塗料です。

自然災害における停電時に避難ルートの視認性の確保、終業時の消灯の際の転倒防止など安全な環境作りに最適な塗床材です。

特長

1 塗膜性能

- 暗所での発光力(輝度)が高く、長時間持続します(約7時間暗闇で視認可能)。
- 蓄光シール等の貼付材と比べ、重量物走行での耐久性に優れます。
- 厚膜型エポキシ樹脂系塗床材ベースのため、塗膜の収縮がほとんどなく厚膜施工が可能です。
- 耐摩耗性・耐衝撃性・耐薬品性・耐油性に優れます。

2 塗装作業性

- 低粘度のためローラーにより簡単に施工可能で、高光沢な仕上がりが得られます。
- 塗替え時に旧塗膜を侵すことや、ちぢみを起こすことはありません。

3 安全性

- 鉛・クロムフリー、F☆☆☆☆タイプの塗料であるため、塗装時及び塗装後も安心してご使用いただけます。

用途

屋内の非常口周辺床面・通路床面及びライン、工場内の段差周辺、階段等のステップ部等

商品構成と塗装面積

商品名	色相	荷姿	主剤	硬化剤	混合比	塗装面積
ユカトップローラーエポ蛍	薄黄緑	3.6kgセット	3.0kg	0.6kg	主剤:硬化剤 5:1	4.5~5.0㎡/セット

塗装方法

主剤:硬化剤=5:1

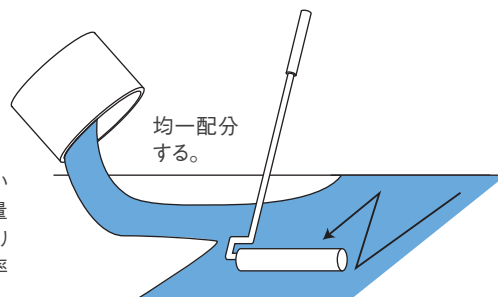
電動攪拌機にて十分に混合する。



混合後
ただちに

施工箇所に
0.7kg/㎡~0.8kg/㎡の
材料を均一配分する。

気温が高かったり施工が難しい箇所等を施工する場合は、混合量を少なくする。その場合は、はかりを用いて主剤・硬化剤の混合比率を正確に計量すること。



※混合した材料は缶の中に絶対放置しないでください。

標準塗装仕様

標準仕様1(蓄光ラインを新設コンクリートに直接塗装する場合)						
工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	1) モルタル・コンクリートの含水率10%以下、pH10以下を確認する。(デジタル直読式水分計の場合は、含水率5%以下を確認する。) 2) 全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレッセンス、脆弱素地(レイタンス)、突起物、浮き部分を除去する。 3) 付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 4) ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 5) 下地の凸部は除去し、凹部やヘアークラック等は、ユカトップ速乾パテ等で補修する。					
ライン1	ユカトップA-EX 白 (ユカトップAシンナー)	20~40	0.15	2	3時間以上7日以内	中毛ローラー 刷毛
ライン2 (蓄光ベース)	ユカトップローラーエポ 蛍	無希釈	0.70~0.80	1	歩行可能:24時間以上 重量物運行:3日以上	短毛ローラー 刷毛

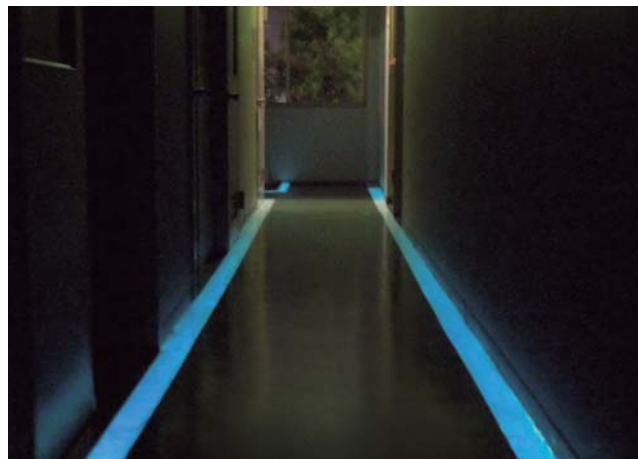
※フォークリフトが頻繁に通る作業場など大きな負荷がかかる床面に使用する場合は、素地調整工程のあと下塗として湿潤面用プライマーを塗装し、ライン1としてユカトップAU#600 白をご使用ください。

標準仕様2(蓄光ラインを既存塗膜の上に塗装する場合)						
工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	1) ポリッシャー、サンダーにより、既存塗膜の蓄光ラインを塗装する部位にサンディングを行う。また、旧塗膜の脆弱部、浮き塗膜を除去する。 2) 付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 3) ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。					
下塗	湿潤面用プライマー (水道水)	10~15	0.12~0.15	1~2	16時間以上7日以内	中毛ローラー 刷毛
ライン1	ユカトップAU#600 白 (ユカトップUシンナー)	20	0.15~0.17	2	3時間以上7日以内	中毛ローラー 刷毛
ライン2 (蓄光ベース)	ユカトップローラーエポ 蛍	無希釈	0.70~0.80	1	歩行可能:24時間以上 重量物運行:3日以上	短毛ローラー 刷毛

※既存塗膜が耐溶剤性のないアクリル樹脂系の場合、湿潤面用プライマーを2回塗装することをご推奨いたします。

※施工上の注意

- コンクリートの養生期間は1ヵ月以上、モルタル養生期間は夏期14日以上、冬期21日以上、含水率10%以下、pH10以下を確認してください。
(デジタル直読式水分計の場合は、含水率5%以下) 含水率が高い場合はふくれ等のトラブルが発生しやすくなります。
- エフロレッセンス・レイタンス層はディスクサンダー・ポリッシャー等で研磨し、除去してください。
- クラック・巣穴等はユカトップ速乾パテ等で補修してください。
- 付着しているグリス、油脂等は強力洗剤(ユカトップ油面クリーナー等)を用いて除去してください。
- **ユカトップローラーエポ蛍の混合比は主剤:硬化剤=5:1です。小出しする場合は必ずかりを用い、正しい混合比で計量混合してください。**
- **使用可能時間(冬期用硬化剤=5℃・40分以内、10℃・20分以内/夏期用硬化剤=20℃・30分、30℃・15分)内に使い切るようにしてください。**
- **紫外線などの影響により、変色による発光力の低下や塗膜の劣化及び剥離が早期に生じるため、屋外には使用しないでください。また屋内でも窓際や出入り口周辺等の長時間紫外線の影響を受ける床面にも使用しないでください。**
- 油污れ面への施工については、弊社担当者までお問合せください。
- 軽量コンクリート面への施工は避けてください。
- **ユカトップローラーエポ蛍は使用可能時間が短い上に、主剤と硬化剤を混合した材料を缶内に放置しておくと、反応熱で硬化が促進され、発熱により煙が生じたり、増粘やゲル化が早期に生じたりする可能性があります。あらかじめスパン割りした箇所混合した材料を素早く流し、短毛ローラーや刷毛で塗り拡げてください。推奨ローラーは大塚刷毛のエクセレントローラーです。**
- **上塗(蓄光ベース)を塗装する前に、必ず中塗の白塗料(ユカトップA-EX、ユカトップAU#600)を塗装して下さい。中塗の白塗料を塗装しないと、本来の性能が発揮されず発光力が低下します。**
- 新設時に強化モルタル処理をしている面(フェロコン、カラークリート処理、ケイフッ化物等ハードナー処理)については付着性が著しく劣るため、特別な下地処理が必要となります。事前にお問合せください。
- 施工中、乾燥中は室内換気を十分に行ってください。乾燥性・仕上がり性等に影響を及ぼします。



塗膜性能

項目	試験結果	試験条件
使用可能時間 (ポットライフ)	40分(冬期用硬化剤)	5℃
	20分(冬期用硬化剤)	10℃
	10分(冬期用硬化剤)、30分(夏期用硬化剤)	20℃
	15分(夏期用硬化剤)	30℃
歩行可能時間	24時間以上	20℃
重量物運行可能時間	3日以上	20℃
光沢値	90	鏡面光沢度(60度)
輝度値※[mcd/m ²]	520	消灯直後
	100	20分後
	30	60分後

※照射条件:昼光色 D65 200Lx、3時間

取り扱いに関する一般的注意事項

調合

- 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するように心がけてください。主剤と硬化剤を混合した場合には、使用可能時間が短いため手早く塗装してください。
- 塗料は使用する前に十分攪拌を行い、主剤と硬化剤を混合後、均一な状態になるまで攪拌してから使用してください。
- 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
- 「ユカトップ ローラーエボ蚩」ヘシンナー添加は厳禁です。

塗装

- 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高温では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
- 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
- 被塗物の表面温度が50℃以上の場合は、塗装を避けてください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
- 塗装時および乾燥中は換気を十分行ってください。
- 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

廃棄

- 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。

保管

- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 容器はつり上げないでください。

※製品に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

※ご不明な点につきましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング



神東塗料

本 社 ☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)
東京事業所 ☎(03)3522-2111(代) FAX(03)3522-2150(代)

工場 尼崎・千葉

《製品に関するお問い合わせ》

北海道営業所 ☎(0123)32-0431(代) FAX(0123)34-6199(代)
東北営業所 ☎(022)285-7915(代) FAX(022)285-7813(代)
東京営業所 ☎(03)3522-1672(代) FAX(03)3522-1678(代)
静岡営業所 ☎(054)245-0135(代) FAX(054)247-4091(代)
北陸営業所 ☎(076)262-1305(代) FAX(076)262-1315(代)

名古屋営業所 ☎(052)612-0293(代) FAX(052)612-0318(代)
大阪営業所 ☎(06)6426-3763(代) FAX(06)6429-6268(代)
中国営業所 ☎(082)264-6822(代) FAX(082)264-6821(代)
四国営業所 ☎(087)841-1251(代) FAX(087)843-3108(代)
九州営業所 ☎(092)472-2222(代) FAX(092)473-5777(代)

<http://www.shintopaint.co.jp/>



- この印刷物は環境に配慮したベジタブルオイルインキを使用しています。
- この印刷物は水なし印刷で作成しております。